

24 (26) 日本の都市II——首都としての江戸(都市文明論⑩)

——江戸・東京はなぜ日本の首都になったか——

05/04/16

1 江戸=東京の位置

- 1) 関東の位置 文化果てる土地
- 2) 関東の空白地 行き止まり——利根川と低湿地 ドーナツ
- 3) 武蔵の国 東山道の盲腸 → 東海道への編入
- 4) 丘陵の不毛 牧場 耕作不適
- 5) 帰化人の移動 高麗⇒狛江 秦⇒秦野 新羅⇒志木

2 江戸の歴史

- 1) 浅草寺 帰化人
- 2) 江戸氏 秩父平氏 江戸湊 江戸重長=坂東八ヶ国の大福長者
- 3) 頼朝と江戸 江戸氏の拡散(六郷、中野、渋谷、喜多見、小日向、飯倉)
- 4) 大田道灌 東西関東の前線基地 文化人
- 5) 後北条 城代 東西関東 ⇒ 南北関東

3 なぜ家康は江戸にきたか

- 1) 秀吉の思惑 中心から遠い 後北条の力
- 2) 家康の思惑 天下への野心
- 3) 鎌倉、川越、小田原
- 4) 広がり と 港の魅力

4 徳川幕藩体制の成立——江戸首都の時代——中央集権的封建制

- 1) 藩の自立と責任
- 2) 参勤交代制、家族の江戸常置、藩への命令権(国替、廃絶、作業)
- 3) 公家諸法度 天皇、公家の統制
- 4) 寺の統制 寺社奉行、宗門改、過去帳
- 5) 建前としての京都 官位 東海道——上る
- 6) 大阪の位置付け 流通拠点——瀬戸内海、淀川 紀州藩

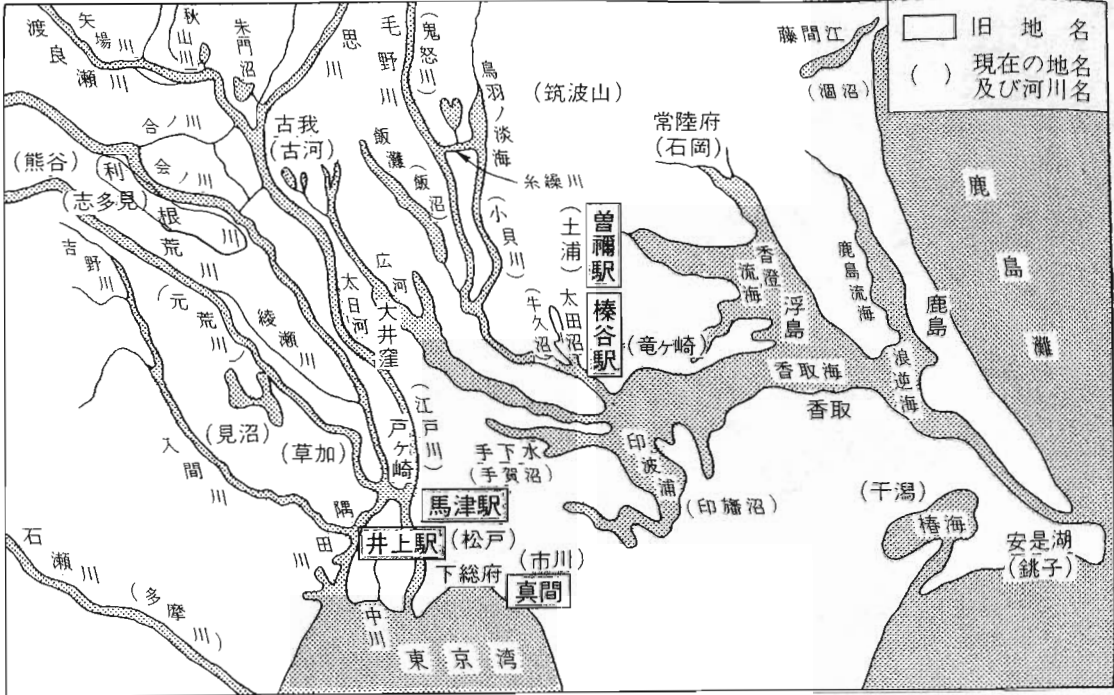
5 ダブル首都の時代

- 1) 家康と駿府 75年中25年 駿府への思い
- 2) 駿府政権の時代 駿府スタッフ(大久保彦左衛門)
- 3) 対豊臣対策と海外交易

6 江戸が東京になったわけ——明治維新

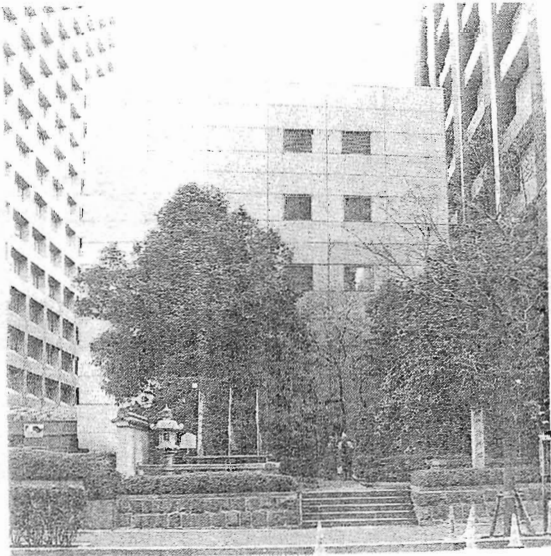
- 1) 京都勢力からの離脱 大阪遷都の失敗
- 2) 前島密の建言——既存施設(大名屋敷など)の利用 東西二京論
- 3) 奥羽越列藩同盟——戊辰戦争の意味、東への偏向——もしなかったなら?
- 4) 天皇東幸(1886/10) 東京再幸(87/3) 太政官移転(87/4) 皇后行啓(87/10) 奠都
- 5) 新政策の適地——徳川の排除と利用 京都への配慮(御下賜金) × 還幸○行幸

1



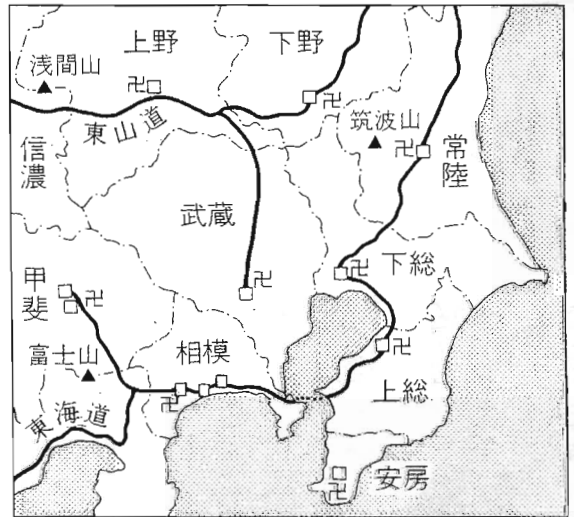
1000年前の利根川 (『利根川と淀川』より)

3

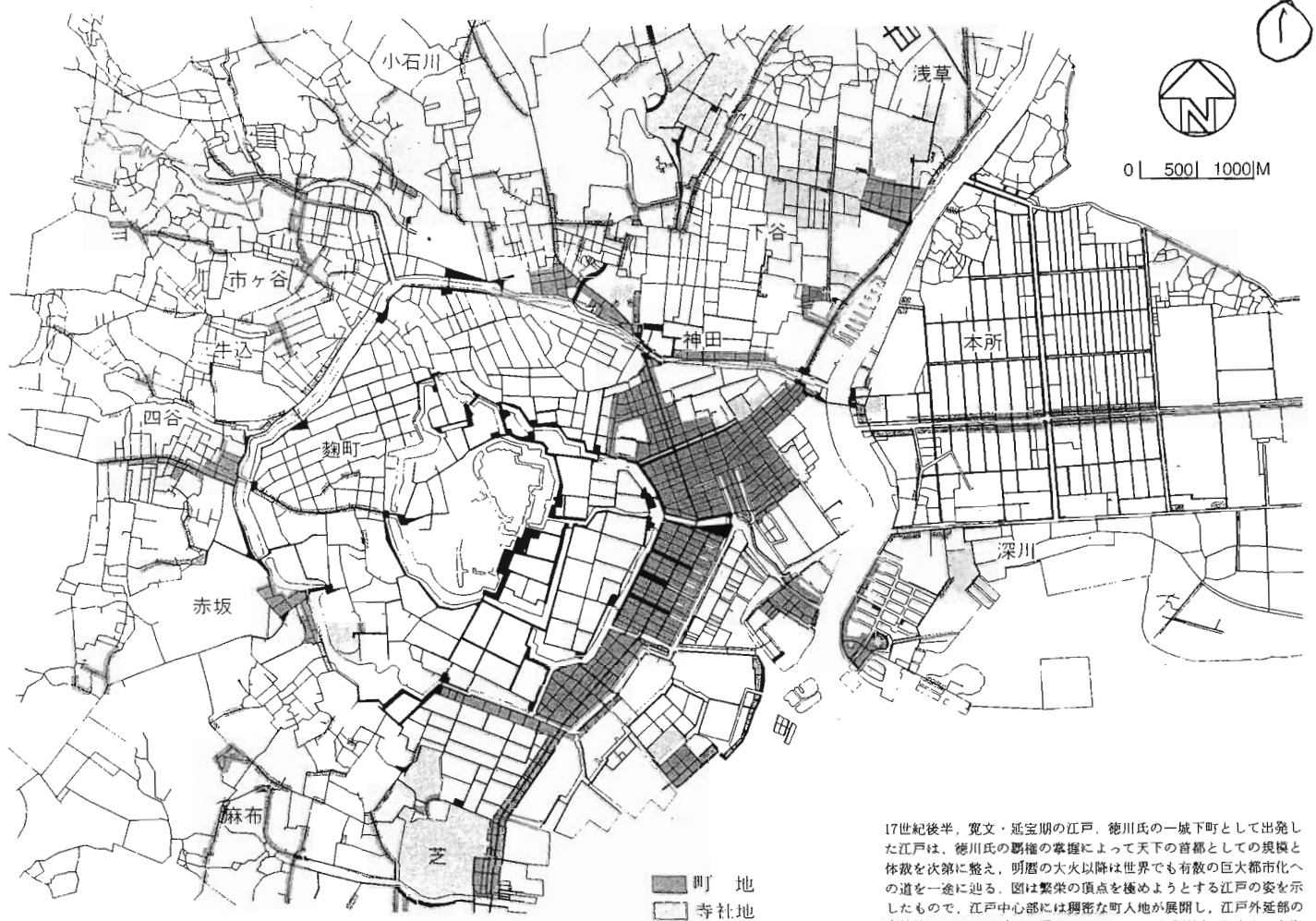


ビルの谷間にある平将門の首塚跡地 (供養塔がある)

2



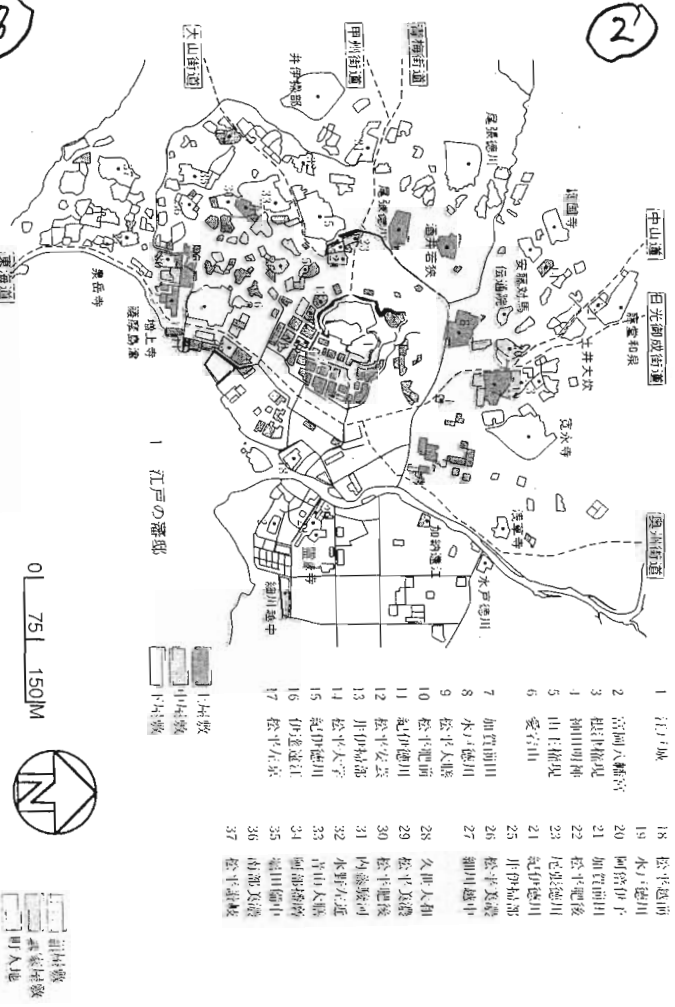
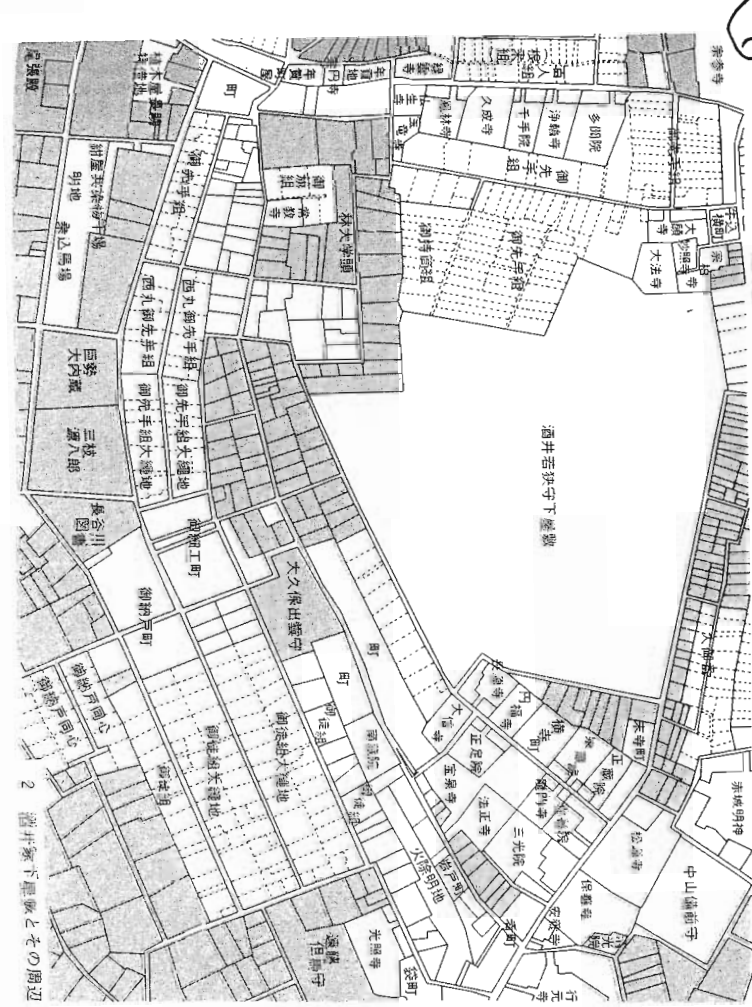
武蔵国が東山道に属していた頃の「海ノ道」「山ノ道」概念図



17世紀後半、寛文・延宝期の江戸。徳川氏の一城下町として出発した江戸は、徳川氏の覇権の掌握によって天下の首都としての規模と体裁を次第に整え、明暦の大火以降は世界でも有数の巨大都市化への道を一途に辿る。図は繁栄の頂点を極めようとする江戸の姿を示したもので、江戸中心部には稠密な町人地が展開し、江戸外延部の寺社地には町人地が入り混じる。キーワード「江戸・御府内」参照。

(70)

(71)



- 1 江戸城
- 2 宮内省
- 3 櫻田門衛
- 4 神田明神
- 5 山田徳兵衛
- 6 安永町
- 7 加賀前田
- 8 水戸徳川
- 9 松平大膳
- 10 松平肥前
- 11 紀伊徳川
- 12 松平左近
- 13 井伊祐助
- 14 松平大平
- 15 紀伊徳川
- 16 伊豆徳川
- 17 松平左京
- 18 松平徳前
- 19 水戸徳川
- 20 阿倍伊予
- 21 加賀前田
- 22 松平肥後
- 23 尾張徳川
- 24 紀伊徳川
- 25 井伊祐助
- 26 松平美濃
- 27 細川豊中
- 28 久保大和
- 29 松平貞徳
- 30 内藤藤次郎
- 31 松平健勝
- 32 水野元連
- 33 吉田大膳
- 34 尾田藤十郎
- 35 南部真勝
- 36 松平頼隆
- 37